

PICK UP  
**01**

## 土砂災害ハザードマップを作成しました

問い合わせ

土砂災害／土木管理課 ☎34・6644  
 避難所<sup>など</sup>／防災対策課 ☎34・6750

### 土砂災害から身を守るために

毎年全国各地で数多くの風水害が発生しています。特に、昨年や今年の夏は豪雨や台風などの影響で大規模な土砂災害が発生しました。

土砂災害は一瞬のうちに多くの人命や財産を奪う恐ろしい災害です。しかも、その発生を事前に予測することは非常に難しいと言われています。

### 身近な危険区域を確認しましょう

まずは自分の住む家が危険な区域かどうか確認することが大切です。土砂災害ハザードマップは、土砂災害の発生するおそれやその危険性に応じて土砂災害警戒区域と土砂災害特別警戒区域を示しています。その他にも避難場所などの避難に関する情報を掲載しています（平成30年3月30日までの指定分を反映。今後新たに指定される区域については随時更新）。

ハザードマップは12月中旬に対象自治区に配布するほか、市ホームページで確認できます。

### 避難経路を考えましょう

家族や地域ぐるみで土砂災害の発生するおそれのある場所や避難場所などについて確認し、避難経路を事前に決めておきましょう。



◀ハザードマップはこちらから確認できます。

PICK UP  
**02**

## 水道管を冬の寒さから守りましょう

問合せ

料金課  
 ☎34・6680



ホームページ

水道管の凍結は、破裂や漏水にもつながります。“水道の冬じたく”をして、凍結防止を心がけましょう。

### －4℃は危険信号！

夜の冷え込みなどにより、気温が－4℃以下になると、凍結や、破裂の恐れが生じます。むき出しの水道管、北向きや風がよくあたる水道管は要注意です。

### 水道管が破裂したときは？

- ①水道メーター付近のバルブを閉めて水を止める。
- ②破裂した部分に布かテープを巻き付ける。
- ③市指定給水装置工事事業者

（市ホームページ掲載）へ修理を依頼



### 凍って水が出ないときは？

水道管にタオルをかぶせ、上からゆっくりとぬるま湯をかける。

※ひび割れすることがあるので熱湯を直接かけない！

### 防寒の方法は？

- ①毛布、布などの保温材を巻く
- ②保温材がぬれないように、上

からビニールテープなどを巻く



### 長期不在中の漏水に注意！

水道を長期間使用しないと、漏水が発生しやすくなります。給湯器や宅内の配管から漏水した場合、漏水分の水道料金や修理費は、個人の負担となります。旅行などで1週間以上留守になる場合は、水道メーター付近のバルブを閉め、漏水を防止しましょう。

PICK UP  
**03**

## 野焼き・ゴミ焼却は禁止です!!

問合せ  
 廃棄物対策課  
 ☎34・6710



### 禁止されている焼却は絶対に行わない

家庭から発生した生活ごみや、家庭菜園で発生した草木などの焼却は原則禁止されています。このような焼却を行った場合、廃棄物処理法により懲役や罰金に処せられることがあります。

今年度、野焼きが原因の火災により、住宅が全焼したという事例も発生しています。禁止されている焼却は絶対に行わないでください。

また、農業を営むためにやむを得ない焼却など、禁止の例外となる焼却においても、周辺的生活環境に影響がないように行う必要があります。風向きに注意しながら火の管理をし、周辺に被害が及ばないように注意してください。



### 具体例

#### 禁止されている焼却例

- ・家庭から発生したごみの焼却
- ・家庭菜園の田畑や庭で発生した木、雑草などの焼却
- ・事業で発生したごみの焼却
- ・ドラム缶や簡易焼却炉での焼却

#### 禁止の例外となる焼却例

- ・火災予防訓練などの、地方公共団体が行う施設管理に必要な焼却
- ・どんど焼きなどの風俗慣習上か宗教上の行事を行うために必要な焼却
- ・害虫駆除などを目的として行う農業を営むためにやむを得ない焼却

PICK UP  
**04**

## 『残さず食べりん！2019運動』を実施しましょう！

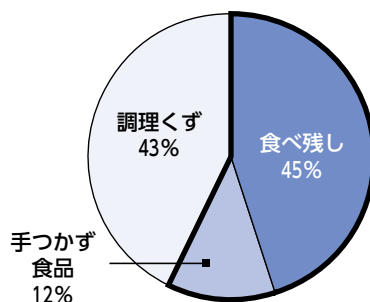
問合せ  
 ごみ減量推進課  
 ☎71・3001



### 食べ残しが膨大な量に

まだ食べられるのに捨てられている食べ物(食品ロス)の量が社会的な問題になっています。

日本の食品ロスは年間646万トンあると言われ、これは国民1人が毎日お茶碗一杯の食材を捨てていることになります。



市内の飲食店等の食品ロスの割合  
 (平成29年12月の市調査結果)

### 「2019運動」で食品ロスを減らそう

忘新年会などの会食時には、つつい会話に夢中になってしまい、食品ロスが発生しやすくなっています。

会食の機会が多くなるこの時期に「2019運動」を実施して、食べ残しを減らしましょう。

※「2019運動」とはラグビーワールドカップ2019™が豊田スタジアムで開催されることにちなみ、「20」・「19」を意識して、料理の食べ残し(食品ロス)の削減を目指す取組です。

### 2019運動を実践してみよう

- ①予約時：人数や年齢層などを伝え、料理内容を相談する
- ②会食のはじまり：「食べ残しのないように、おいしく食べきましょう」の声かけをする
- ③食べきれない分は、みんなで分け合う
- ④乾杯後20分間とお開き前19分間：席について、料理を楽しむ